

麻酔科

(1) 2年間の初期研修で到達可能な臨床レベル

患者の既往症、口腔気道を評価し問題点を挙げることができる。

バイタルサインを把握し評価できる。

マスク換気を行える。

気管挿管を行い、人工呼吸管理を行える。

各循環指標をもとに適正な輸液を行い、循環管理を行える。

静脈、動脈、中心静脈を超音波ガイド下に確保できる。

麻酔薬、鎮痛薬、筋弛緩薬および各循環作動薬について理解し投与することができる。

手術部位による末梢神経ブロックの適応を理解する。

*2年目からICU（学会認定施設）での研修も可能です。

(2) 後期専攻医（専門医研修）へのつながり

当院は京都府立医科大学附属病院麻酔科専門研修プログラムにおける主要連携施設である（連携施設B）。4年の研修期間のうち、基幹施設（大学病院）での1年（必須）を含む、当院での6-24か月程度の研修が見込まれる。

リンク参照：[anesth-kpum](https://www.kpu.ac.jp/department/anesth-kpum)